

横須賀市観光振興推進委員会資料

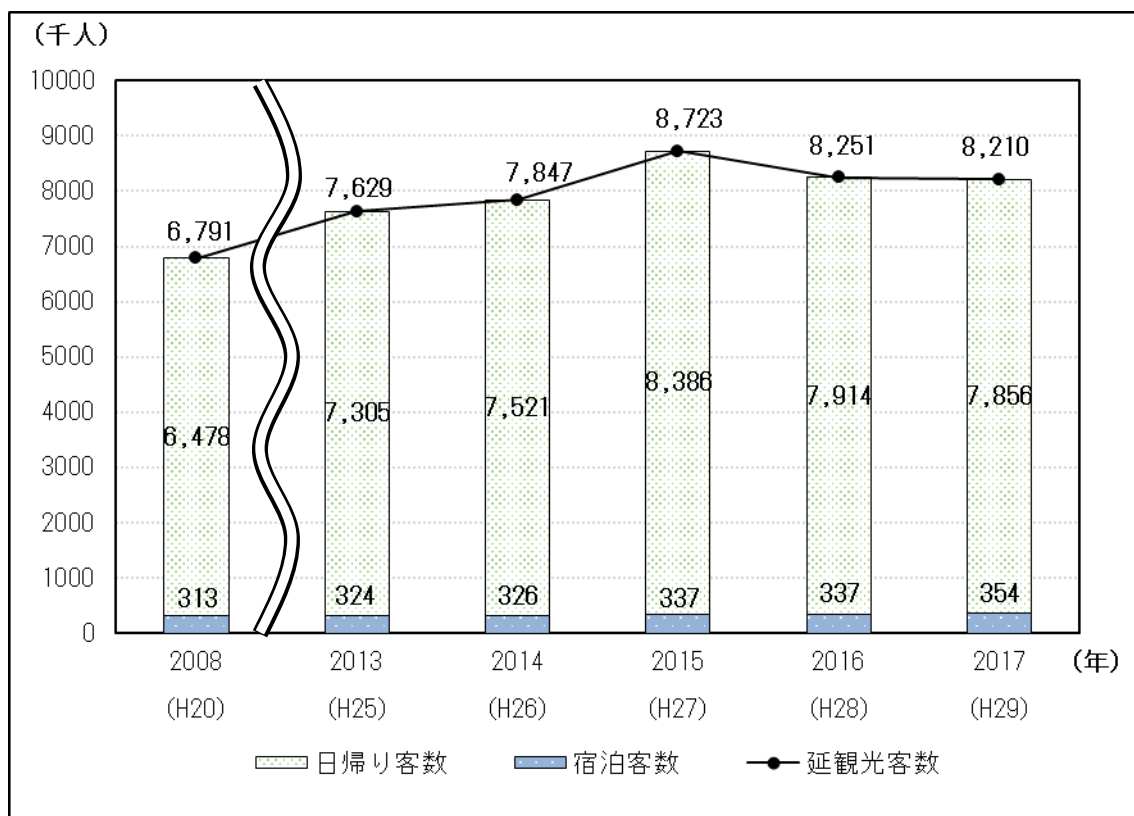
◎観光客の現状と今後の主な施策の展開について

平成 30 年(2018 年)10 月 24 日

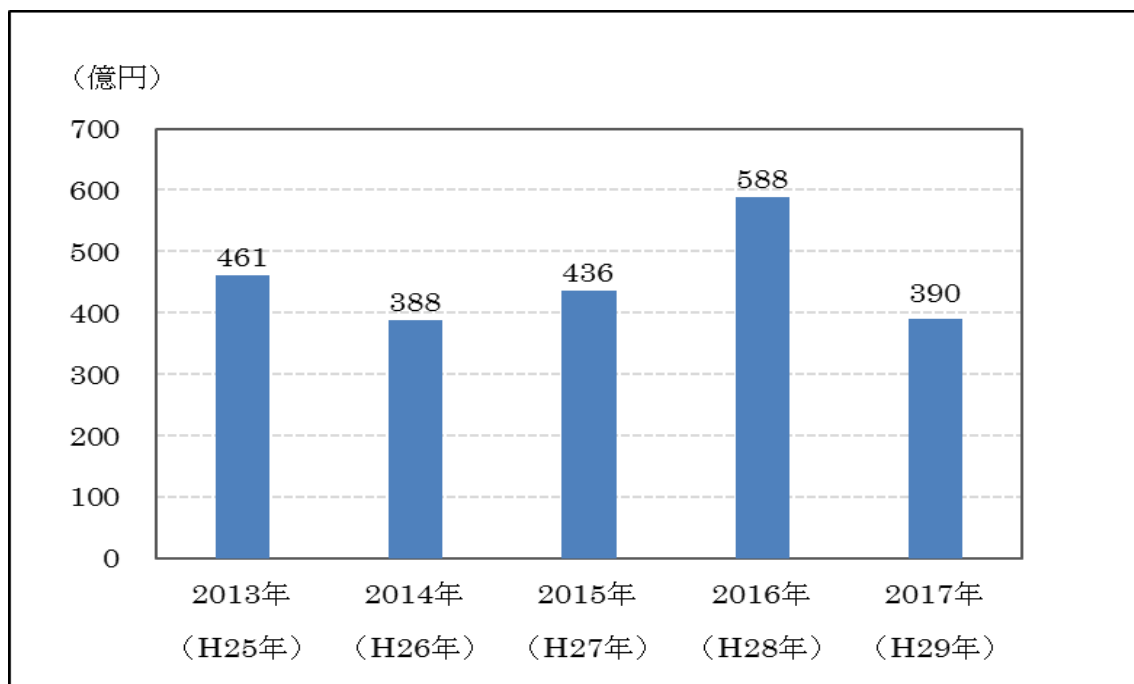
文化スポーツ観光部観光課

1 観光客の現状について

(1) 延観光客数の推移



(2) 観光消費額の推移



(3) 居住地（上位5位）

順位	平日		休日	
	都道府県名	観光客数（人）	都道府県名	観光客数（人）
1	神奈川県	549,400	神奈川県	545,500
2	東京都	15,000	東京都	21,700
3	千葉県	3,300	千葉県	5,900
4	埼玉県	2,300	埼玉県	3,500
5	静岡県	1,500	静岡県	2,200

出典：地域経済分析システム（RESAS）を加工して作成（2015年（平成27年）数値）

(4) 性別

順位	性別	割合（%）
1	男性	71.3
2	女性	28.7

注1）N=600（首都圏200, 東海・中京圏200, 関西圏200）

出典：平成28年度「横須賀市観光マーケティング調査結果（国内WEBアンケート）」

(5) 年齢

年齢	割合（%）	
	男性	女性
20～24歳	4.2	4.7
25～29歳	7.0	9.9
30～34歳	7.7	12.2
35～39歳	9.6	12.2
40～44歳	13.6	14.5
45～49歳	14.7	9.9
50～54歳	15.7	11.6
55～59歳	9.1	7.6
60～64歳	8.6	10.5
65～69歳	9.8	7.0

注1）男性：N=428（首都圏148, 東海・中京圏137, 関西圏143）

女性：N=172（首都圏52, 東海・中京圏63, 関西圏57）

出典：平成28年度「横須賀市観光マーケティング調査結果（国内WEBアンケート）」

(6) 交通手段（自宅から本市）

交 通 手 段	割 合 (%)			
	首都圏	東海・中京圏	関西圏	全 体
自家用車	46.5	52.5	24.0	41.0
京急電鉄	26.5	11.0	16.0	17.8
JR 在来線	21.5	17.5	16.5	18.5
新幹線・京急・JR 以外の鉄道	4.5	6.0	4.5	5.0
レンタカー	3.0	3.5	3.5	3.3
友人・知人の車	3.0	2.5	3.5	3.0
路線バス・高速バス	1.5	3.0	8.0	4.2
貸切観光バス・団体ツアーバス	3.0	5.5	1.0	3.2
バイク・原付	2.0	1.5	0.5	1.3
タクシー・ハイヤー	0.5	0.5	1.5	0.8
自転車（レンタサイクルを含む）	0.5	0.0	1.5	0.7
飛行機	0.5	1.5	9.5	3.8
船舶（フェリー、クルーズなど）	0.5	0.0	0.0	0.2
新幹線	0.0	23.5	45.0	22.8
その他	0.0	0.0	0.0	0.0

注 1）N=600（首都圏 200, 東海・中京圏 200, 関西圏 200）

注 2）複数回答

出典：平成 28 年度「横須賀市観光マーケティング調査結果（国内 WEB アンケート）」

(7) 来訪目的（上位 5 位）

順 位	来 訪 目 的	割合 (%)
1	食事・グルメ	29.3
2	米軍基地・自衛隊施設・艦船の見学	26.5
3	まち歩き・散策	23.8
4	自然観賞・散策（森林浴、紅葉など）	21.5
5	博物館・美術館の鑑賞	10.8

注 1）N=600（首都圏 200, 東海・中京圏 200, 関西圏 200）

注 2）複数回答

出典：平成 28 年度「横須賀市観光マーケティング調査結果（国内 WEB アンケート）」

(8) 滞在時間（日帰り客）（上位5位）

順 位	滞 在 時 間	割 合 (%)
1	3～4 時間未満	17.5
2	5～6 時間未満	16.2
3	4～5 時間未満	16.0
4	2～3 時間未満	15.5
5	1～2 時間未満	9.8
5	6～7 時間未満	9.8

注1) N=388

出典：平成28年度「横須賀市観光マーケティング調査結果（来訪者アンケート）」

(9) 観光バス台数の推移

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対28比	対25比
6,353台	7,564台	8,800台	9,122台	9,801台	+7.4%	+54.3%

2 今後の主な施策の展開について

(1) 開国の地「横須賀」の資源を最大限に生かす

○ルートミュージアム構想

これまで進めることができなかった横須賀に眠る、開国期～それ以降の歴史遺産整備を、内閣府、国土交通省、文部科学省など国と連携することによりスタートさせ、新たな周遊ルートを創出し、集客の促進を図る。



さらに浦賀～久里浜地域の史跡などの整備を順次進め「開国の地」としての地位を確立する。

（２）横須賀の新たな魅力を引き出す

これまでの「歴史」を中心とした観光に関する取り組みに加え、「海やプロスポーツに身近な環境」、「ロック・ジャズ発祥の地」など横須賀が持つポテンシャルを最大限に活かした事業を展開する。

ア スポーツの力で横須賀を変える

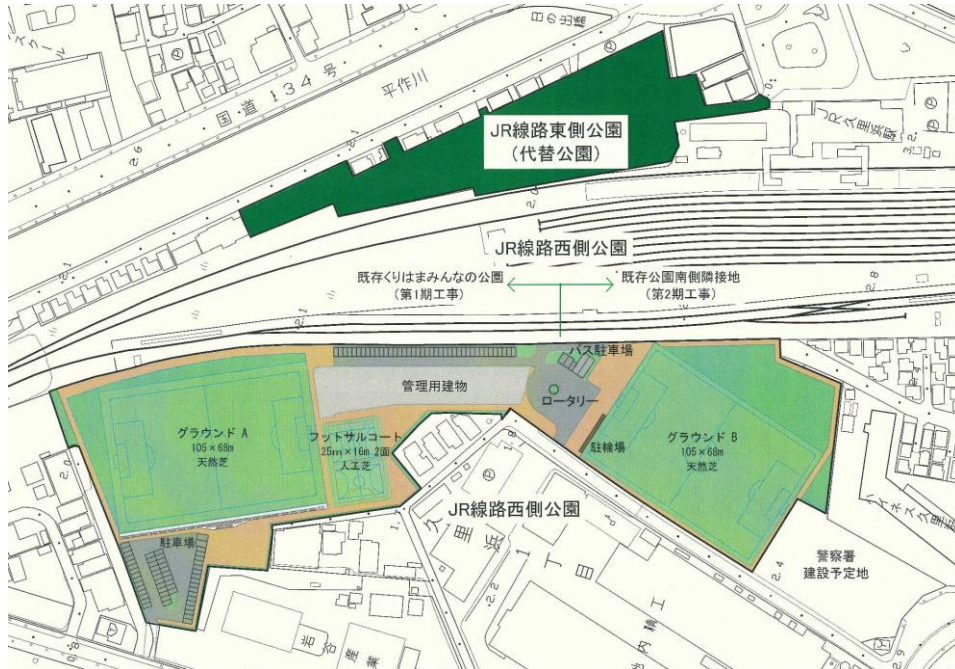
①横浜 DeNA ベイスターズ総合練習場の整備（2019 年 7 月～）

- ・ 総合練習場、選手寮に加え、練習を間近に観ることができるカフェなどを設置。
- ・ 横須賀スタジアムの来場者を年間 4 万→10 万人以上の集客施設に変貌させる。
- ・ 総合練習場の完成を起爆剤に、国道 357 号の延伸、追浜駅前の再開発と連動させ、追浜地域をベースボールタウンとして活性化させる。



②横浜F・マリノス練習場の整備（2022年1月～）

- ・長年の懸案であった、JR久里浜駅の未利用地に、横浜F・マリノスの練習場を誘致。
- ・練習場の来場者を年間10万人以上の新たな集客施設にする。
- ・練習場の完成を起爆剤に、久里浜地域をフットボールタウンとして活性化させる。



③ウインドサーフィンW杯の規模拡大

- ・ウインドサーフィンW杯をさらに充実させ、津久井浜がマリンスポーツのメッカであることの認知度を高めていき、地域や民間の投資を促し、マリンスポーツのまちとして、地域活性化を図る。
- ・W杯の開催をきっかけに、隣接の駐車場をウインドサーファーが利用しやすいようリニューアル。
- ・NPO 法人津久井浜マリンスポーツ連盟の設立。



イ 音楽エンターテインメントの力で横須賀を変える

【第一弾】

①Pokémon GO Safari Zone in 横須賀の開催

- ・世界的人気をほこる「ポケモン GO」のイベントを、ドルトムント（ドイツ）、シカゴ（アメリカ）に続き誘致を実現。
- ・8月29日（水）から9月2日（日）の開催期間中、約20万人が横須賀を訪れた。



さらに2019年に新たなメジャーイベントの実施に向けて進行中

②Tropical Disco in SARUSHIMA

- ・大手音楽配給会社エイベックスと連携し「Tropical Disco in SARUSHIMA」を開催。
- ・世界的DJや著名なアーティストを招聘し、業界関係者の間で多くの反響を呼び、新たな猿島の可能性を全国に発信した。



③YOKOSUKA INNOVATION MUSIC AUDITION2018

- ・世界をわくわくさせる新しい才能を発掘する音楽オーディションを横須賀で初めて開催。
- ・優勝者が制作する楽曲は「ユニバーサルミュージック」からメジャーデビュー予定。



④ヨコスカ街なかミュージック

- ・常に音楽にあふれた、ワクワクする街を目指し、イベントとコラボしたライブ開催や「音楽」に関するさまざまな情報を発信。



(3) 新たな基盤整備

宿泊施設の誘致や西地域の魅力を活かした集客施設の誘致など横須賀での消費を促すための基盤整備を進める。

①旧三笠駐車場用地（中央地区）へのホテル誘致

- ・ 中心市街地の活性化及び観光立市の推進のため「旧三笠駐車場用地」にホテルを誘致する。
- ・ 200 室程度のホテルを誘致し、宿泊能力の向上、観光客消費額の拡大を図る。

②よこすかポートマーケット跡地の活性化

- ・よこすかポートマーケットの跡地を活用して、民間事業者の運営による観光集客の核となる施設（飲食・物販・イベントなど）の誘致を行う。



③ソレイユの丘隣接地（3.3ha）へのレジュー施設等の誘致（2020年公募）

- ・ソレイユの丘の魅力と集客力向上を図るため、隣接する国有地を活用して、交流拠点としての機能を拡充・強化する。

④用途地域などの見直し

- ・西地区海岸周辺において、経済の発展につながる宿泊施設や集客施設の立地促進を目的とした都市計画規制の緩和を行う。

⑤スマートインターチェンジの整備

- ・横浜横須賀道路上り線の横須賀パーキングエリア付近に、スマートインターチェンジを整備し、西地区への利便性の向上を図る。

⑥佐島漁港本港地区の活性化



⑦新たなグルメの開発

- ・新鮮な地場産野菜や魚介類などを使用した新たなグルメの開発を行う。

「鮮魚のカルパッチョ」



「マフィンと野菜のプレート」

